

神奈川県食品ロス削減推進計画の改定案について

神奈川県食品ロス削減推進計画（以下「計画」という。）について、第82回神奈川県環境審議会での審議や神奈川県議会への報告、改定素案に対する県民意見募集等を経て、このたび、計画改定案を取りまとめた。

1 改定素案に対する意見の状況

(1) 第82回神奈川県環境審議会

ア 開催日

令和7年8月28日

イ 意見の内訳

区分	件数
計画全般について	1件
計画の趣旨、現状・課題について	0件
計画の目指す姿と施策の方向性、削減目標について	0件
推進施策について	4件
各主体の役割、計画の推進について	1件
その他	0件
計	6件

ウ 意見の反映状況

(ア) 計画案に反映したもの 1件

- ・「生物多様性国家戦略」の中の行動目標にフードロスが明記されているため、SDGsの14番、15番のアイコンを計画表紙に追記すべき。

(イ) 計画（改定素案）に既に盛り込まれているもの 4件

- ・食品ロス削減という観点で言えば、環境農政局が担当だと思うが、食べ物等を必要な方に届けることに関しては、福祉子どもみらい局も担当と思う。横のつながりも大切にしながら、効果的かつ効率的にフードドライブを推進してほしい。
- ・食品ロス削減の取組については、その瞬間は取り組もうと思うけれども、それが継続できないところが問題点として挙げられるので、やってよかったですなど感じられるような仕組みづくりができると良い。
- ・食品ロスを削減するための教育や学習という場は非常に重要だと思うので、是非、力を入れてほしい。
- ・業界で行われている食品ロスを削減する様々な取組を認めていくのがよいのではないか。

(ウ) 今後の取組の参考とするもの 1件

- ・ 全国的な動きにならないと難しい分野だと思うので、業者への働きかけを全国的な視野で展開し、食品ロスの排出源を減らしていくことが一番である。

(2) 神奈川県議会環境農政常任委員会

ア 開会日

令和7年9月25日

イ 意見の内訳

区分	件数
計画全般について	0件
計画の趣旨、現状・課題について	0件
計画の目指す姿と施策の方向性、削減目標について	2件
推進施策について	1件
各主体の役割、計画の推進について	3件
その他	0件
計	6件

ウ 意見の反映状況

(ア) 計画案に反映したもの 1件

- ・ 食品ロス対策におけるデジタル技術の活用は大変有効な取組であることが分かったので、県の取組に協力してもらえる企業の拡大に努めるなど、引き続き、実効性のある取組をしっかりと進めてほしい。

(イ) 計画（改定素案）に既に盛り込まれているもの 3件

- ・ 県民や事業者一人ひとりが、食品ロスの削減に関する認識を自分事としてとらえ、各主体ができる取組を実践していくことが重要である。
- ・ これまでの進捗や国の基本方針を踏まえ、削減目標を引き上げるとのことであり、より一層の実践が必要となるので、各主体がしっかりと取組を進めることができるような計画づくりするべき。
- ・ 各市町村が少しでも食品ロスをなくそうと上手に競争し合えるような取組を県としてぜひ進めてほしい。

(ウ) 計画案に反映しないもの 1件

- ・ 国の新たな方針を受け、本県においても、事業系食品ロス発生量の目標値を見直すなど、さらなる削減を目指す必要があると考えられる。

(エ) その他 1件

- ・ 各主体の実践を促すためには、行政がしっかりと計画を策定し、目標達成に向けた取組の方向性を示していくことが重要である。

(3) 県民意見募集及び市町村意見照会

ア 県民意見募集（パブリックコメント）

(ア) 募集期間

令和7年10月8日～11月10日

(イ) 周知方法

県ホームページ、印刷物による縦覧（県政情報センター、各地域県政情報センター、資源循環推進課等）

イ 市町村意見照会

(ア) 照会期間

令和7年10月8日～10月31日

(イ) 照会方法

文書による照会

ウ 実施結果

(ア) 意見の件数

県民意見募集 10件（意見提出者数 2者）

市町村意見照会 0件（意見提出者数 0者）

(イ) 意見の内訳

区分	件数
計画全般について	0件
計画の趣旨、現状・課題について	1件
計画の目指す姿と施策の方向性、削減目標について	0件
推進施策について	7件
各主体の役割、計画の推進について	1件
その他	1件
計	10件

(ウ) 意見の反映状況

a 計画案に反映したもの 2件

- 環境省のホームページを見たら、2023年度の食品ロス量が発表されていた。神奈川県の計画でも2023年度のデータに更新できないのか。
- 先日県が発表していたロスZEROかながわ大作戦は、すごくいい取組。多くの人に使ってもらうためにも計画に記載した方がいい。

b 計画（改定素案）に既に盛り込まれているもの 7件

- 外食の際、つい注文し過ぎてしまうことがある。持ち帰ろうとしても、持ち帰りに対応してくれるお店がまだ少ない。持ち帰りに対応してくれるお店が増えるようにしてほしい。

- ・ これからの人ロス減少、担い手不足の状況でも食品ロス対策を進めるため、デジタル技術を積極的に導入した方がいいと思う。
 - ・ 賞味期限と消費期限の違いについて、消費者が正しく理解できるよう、啓発に力を入れてほしい。
 - ・ 最近の物価高で、食支援が必要な方が増えていると思う。そういった方々を支えるため、フードドライブの取組がもっと広がってほしい。
 - ・ 食品ロスにならないように、必要以上に食材を購入しないこと。その日に必要な分だけ作り、過剰に作りすぎないようにすべき。そうすれば、食品ロスはなくなる。
 - ・ 普段の買い物をしているときに、棚の奥の方から商品を手にしている人がまだまだいる。「てまえどり」の重要性について、もっと周知した方がいい。
 - ・ 食品ロス削減のためには、県民や事業者の協力が不可欠である。様々な媒体を用いて周知してほしい。
- c その他 1件
- ・ 県の課題として家庭系では食べ残し、事業系では飲食店における取組が重要ということがわかった。県の課題を踏まえてこれからも取組を進めてほしい。

2 改定素案からの主な変更箇所

(1) 表紙

表紙右上において、SDGsアイコン「14」及び「15」を追加した。

(2) 第2章 食品ロスの現状と課題

第1節「全国の食品ロスの状況」など計画全般にわたって、国及び本県の「2022年度のデータ」を「2023年度のデータ」に修正した。

(3) 第5章 推進施策

第5節「未利用食品を提供するための活動の支援等」において、「ロスZEROかながわ大作戦！」の取組を追記した。

3 今後のスケジュール（予定）

令和8年2月 県議会へ計画改定案を報告

3月 計画改定